

BOMGAR™

Bomgar アプライアンスウェブインターフェース

Base 3.2

Bomgar をご利用いただきありがとうございます。

Bomgar では、顧客サービスを最優先に考え、お客様に 100% ご満足いただけるサービスを提供しています。万一記載内容の誤りや誤字脱字などお気づきの点がございましたら、feedback@bomgar.com までご連絡ください。

Bomgar アプライアンスウェブインターフェース | Base 3.2

目次

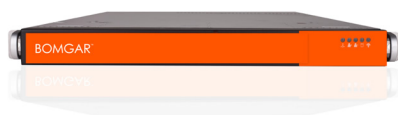
Bomgar アプライアンス	4
Bomgar アプライアンス ウェブインターフェース	5
アプライアンス管理者ログイン画面.....	6
ステータス > 基本事項.....	7
ステータス > 記憶域.....	8
Bomgar B300 アプライアンスの特記事項.....	8
Bomgar B400 アプライアンスの特記事項.....	8
ハードウェア不具合の通知 (B300 および B400 のみ).....	9
マイ アカウント.....	9
ネットワーク > IP 構成.....	10
ネットワーク > 静的ルート.....	12
ネットワーク > SNMP.....	13
セキュリティ > 証明書.....	14
サーバー構成.....	14
証明書.....	15
証明書リクエスト.....	16
キー.....	17
インポート.....	17
セキュリティ > アプライアンス管理.....	18
セキュリティ > SSL 構成.....	19
セキュリティ > 電子メールの構成.....	20
サポート > ユーティリティ.....	21
サポート > アップデート.....	22
サポート > アドバンスド サポート.....	23

Bomgar アプライアンス

Bomgar は、リモートサポートのためのアプライアンスベースのアプローチを最初に導入しました。特許取得済みの導入モデル「Bomgar アプライアンス」は、リモートサポートの導入で、最もセキュアなオプションです。

Bomgar アプライアンスは、独自のセキュリティ措置の下に施設やデータセンターに配置できます。この導入モデルにより、セキュリティの制御がしやすくなり、アイデンティティ管理を付属したリモートサポートを安全に統合できるようになります。また、完全な監査証跡を得るためのレポートデータやビデオのエクスポートを簡単に行えるようになります。

Bomgar アプライアンスの構造



Bomgar アプライアンスは、ハードウェア管理をユーザー管理から隔離するために、**/appliance** と **/login** の2つの管理用ウェブインターフェースを使用しています。

画像: Bomgar B300 アプライアンス

アプライアンス管理

ウェブインターフェース **/appliance**

使用目的:

- ハードウェアのインストールと構成
- Bomgar ソフトウェアのアップグレード

リソース

Bomgar アプライアンス管理ガイド

ユーザー管理

ウェブインターフェース **/login**

使用目的:

- ユーザーとワークフローの管理
- サポートアクティビティのレポート
- 統合の作成と使用

リソース

Bomgar 管理用ガイド

本書の使用

セキュリティ上の理由により、Bomgar はユーザー管理とアプライアンス管理を分けています。ユーザー管理のための複数の管理アカウントを作成できる一方、アプライアンス管理では、1つのアカウントのみが許可されます。

従って、このガイドでは、Bomgar アプライアンスの管理についてのみに焦点を当てています。ユーザー管理の情報 (/login ウェブインターフェース) は *Bomgar* 管理用ガイドに記載されています。

- アプライアンスの構成についての情報は、5 ページの「Bomgar アプライアンス ウェブインターフェース」を参照してください。

Bomgar アプライアンス ウェブインターフェース

本ガイドは、/applianceウェブインターフェースにおける Bomgar アプライアンスの管理方法に役立つ情報をまとめています。このアプライアンスは、管理の中核的なポイントとして、Bomgar サイトの管理機能をつかさどります。本ガイドは、Bomgar アプライアンスの初期設定および構成を行った後に使用してください。ご質問等は、1.866.205.3650 /内線 2 (フリーダイヤル)、もしくは +01.601.519.0123/ 内線 2 (国際電話) までお問い合わせください。support@bomgar.comからのお問い合わせも承っております。

アプライアンス管理者ログイン画面

アプライアンスをインストールした後、Bomgar Box 管理用インターフェースにログインするには、お使いのアプライアンスの公開 URL の末尾に **/appliance** を追記します。(例:
http://support.example.com/appliance など)

既定のユーザー名: **admin**

既定のパスワード: **password**

初回のログイン時には、管理用パスワードの変更を求められる場合があります。¹

注:セキュリティの関係上、/appliance インターフェース用に使用する管理ユーザー名とパスワードには、/login インターフェース用とは異なるものを指定し、個々に管理する必要があります。

The screenshot shows the login interface for the Bomgar appliance. At the top left is the BOMGAR logo. To the right, it says 'B300 ログイン' and has a language selection dropdown menu currently set to '日本語'. Below this is a dark grey bar with the word 'ログイン' in white. The main area contains two text input fields: 'ユーザー名' and 'パスワード'. Below these is a red button with the text 'ログイン'. At the bottom of the page, there is a small note: 'ログインするにはクッキーを有効にする必要があります'.

¹パスワードは最低長さ 8 文字で、英数字の大文字、小文字、数字、特殊記号をそれぞれ最低 1 つ含める必要があります。

ステータス > 基本事項

基本事項ページでは、Bomgar Box の情報をご覧いただけます。またシステムの監視も可能です。また、ローカル時間も任意の有効なグローバルタイムゾーン内に設定できます。システムの時間は常にUTC (協定世界時) で表示されます。

ひとつのIPアドレスに回答する複数のサイトを持つ会社は、ドメイン名ではなく、IPアドレスを直接入力してデフォルトのサイトを選択します。ひとつ以上のDNSエントリがこのIPアドレスにダイレクトされている場合で既定値なしを選択する場合、IPアドレスを入力することで、サイトにアクセスを試みているというエラーメッセージが表示されます。この設定は通常変更されません。

このページから、Bomgar Box を再起動またはシャットダウンできます。アプライアンスの再起動は求められませんが、定期メンテナンスの一環として、月に一度は再起動することが推奨されます。この再起動を実行するために、物理的にアプライアンスにアクセスする必要はありません。

Bomgar サポートからの指示がない限り、次の事項は実行しないでください:アプライアンスを出荷時の既定値にリセットするボタンをクリックすると、Bomgar Box は工場出荷時の状態に戻ります。これにより、すべてのデータ、構成設定値、サポートサイト、アプライアンスの証明書は完全に削除されます。Bomgar Box がリセットされると、電源も自動的に切れます。

ステータス	マイアカウント	ネットワーク	セキュリティ	サポート
基本事項 設定値				
アプライアンスの統計				
アプライアンスのバージョン	v300 v1			
アプライアンスシリアル番号	NNG00081800419			
アプライアンス GUID	123b1539948a4fa0a7b2840821e1125f			
ベースソフトウェアバージョン	3.2.4 (27933)			
サービスパック	10			
ファームウェアのバージョン	2			
ファームウェアのビルド日	2011/04/25 月 15:18:58 UTC			
システムアップタイム	4 日, 6:09			
プロセス	0.02, 0.03, 0.09 (0)			
診断ステータス	0			
システムの時刻	2011/04/29 金 21:41:26 UTC			
タイムゾーン	UTC			
既定のサイト				
既定値なし <input type="button" value="変更を保存"/>				
注: このアプライアンスにインストールされている各サイトは、メインホスト名およびその他のサイト エントリに回答するように構成されています。このデフォルトにインストールされているサイトによって構成されている IP アドレスまたはホスト名でアクセスが得られると、上記の既定が応答を定義します。不明な IP アドレスや不明なホスト名は応答しないようにする、または応答する既定のサイトを指定することができます。				
再起動 シャットダウン				
<input type="button" value="アプライアンスを再起動する"/>				
<input type="button" value="アプライアンスをシャットダウンする"/>				
アプライアンスを出荷時の既定値にリセットする				
<input type="button" value="アプライアンスを出荷時の既定値にリセットする"/>				
注: アプライアンスを出荷時の既定値にリセットすると、すべてのサイト、すべての構成、すべてのデータ、すべての証明書が削除されます。リセット後、カスタムネットワーク構成はすべて失われます。再構成するには、アプライアンスへの物理的アクセスが必要となります。リセット後、アプライアンスは自動的に電源が切れます。Bomgar サポートに連絡して、最新のインストール用パッケージを入手する必要があります。				

ステータス > 記憶域

ストレージページでは、Bomgar Box のハードドライブの領域の使用率を表示します。

サポートサイト (セッション、プレゼンテーション、リモート シェル レコーディング) ですべての記録機能を有効にする場合、または全体的なセッションカウントが高い場合、ディスク使用率が高くなる場合があります。ディスク使用率 85-95% ではアラームは発生しません。ハードドライブのディスク領域が残り少なくなったら、Bomgar Box は自動的に一番古いセッションデータを削除し、その空いたディスク領域を新規セッションデータに使用します。

ステータス
マイアカウント
ネットワーク
セキュリティ
サポート

基本事項
記憶域

RAID :: アダプター ステータス

アラームを解除

ローカル ストレージ

論理ディスク 0

使用率 7%

全体の状態	最適
ホットスベア	不在

▶ 診断アウトプット

Bomgar B300 アプライアンスの特記事項

B300 では、データのバックアップに独立ディスク冗長アレイ (RAID) を使用しています。RAID 6 では、アプライアンスが4つのうちの2つのドライブを喪失しても、データの損失が生じないようにになっています。不具合が発生した場合、壊れたドライブを外し、送付メンテナンスの許可と修理またはドライブの交換を手配するために Bomgar までご連絡ください。損傷したドライブを交換する場合、そのドライブはホットスベアになります。ドライブの交換時、アプライアンスの電源を切る必要はありません。

Bomgar B400 アプライアンスの特記事項

B400 には、2つの論理的独立ディスク冗長アレイ (RAID) が搭載されています。この RAID 構成には、2つの論理 RAID ドライブに構成された8つの物理ディスクドライブが含まれます。RAID 1 の構成は物理ディスク0、RAID 6 の構成は物理ディスク1 となります。



RAID 1 または RAID 6 の物理ドライブのひとつに不具合が発生した場合は、パフォーマンスへの影響やデータの喪失は発生しません。ただし、RAID 6 構成の2番目のドライブに不具合が発生した場合、データの喪失はないものの、パフォーマンスは低下します。

ハードウェア不具合の通知 (B300 および B400 のみ)

アプライアンスの LED にも、ハードドライブの状態が表示されます。通常ディスクのアクティビティを LED 灯の点灯で知ることができます。ハードディスクに不具合が発生した場合、LED は赤く点灯し、可聴アラームによる警告で不具合の通知が行われます。データの再書き込みが行われるホットスワップの LED は、再同期が完了するまで赤く点滅します。システムが回復する前にアラームを解除するには、ウェブインターフェースの「アラームを解除」ボタンをクリックしてください。

マイ アカウント

ここでは、管理者のユーザー名とパスワードを変更できます。Bomgar では、未承認アクセスから保護するためパスワードを定期的に変更することを推奨しています。

ログイン情報を忘れた場合、または変更する必要がある場合に、サイトの管理者ユーザー名およびパスワードを既定値に復元できる**管理者アカウントのリセット**を選択することもできます。

The screenshot displays the 'マイアカウント' (My Account) page with the following sections:

- ユーザー名の変更** (Change Username):
 - 現在のユーザー名: admin
 - * 新規ユーザー名: admin
 - * 現在のパスワード: [masked]
 - Buttons: ユーザー名の変更, キャンセル
- パスワードの変更** (Change Password):
 - ユーザー名: admin
 - * 現在のパスワード: [input field]
 - * 新規パスワード: [input field]
 - * 新規パスワードの確認: [input field]
 - Buttons: パスワードの変更, キャンセル
- 管理者アカウントのリセット** (Reset Admin Account):
 - サイトの管理者アカウントのリセット: [dropdown menu]
 - Button: 管理者アカウントのリセット

ネットワーク > IP 構成

高度なネットワーク構成を持つ企業は、アプライアンスのイーサネットポートに複数の IP アドレスを構成することができます。複数のポートを使用すると、セキュリティを強化でき、非標準ネットワークの接続が可能になります。例えば、社員にインターネットの使用が制限されている場合でネットワークに接続しないサポートを提供しなくてはならない場合、ひとつのポートを内部のプライベートネットワークに使用し、もう一方をパブリックインターネットに使用すれば、ネットワークのセキュリティポリシーを侵害することなく、world-wide ユーザーがサポートをリクエストできるようになります。MTU も NIC ごとに構成できます。¹

NIC 構成		
	NIC 1	NIC 2
詳細	MAC アドレス 00:30:48:c1:18:24 リンクが輸出されました はい リンク速度 1000 Mbps リンクデュプレックス 76 受信バイト 16989922 受信エラー 0 受信中継 0 送信バイト 9277581 送信エラー 0 送信中継 0 送信衝突 0	MAC アドレス 00:30:48:c1:18:25 リンクが輸出されました はい リンク速度 Mbps リンクデュプレックス ハーフ 受信バイト 0 受信エラー 0 受信中継 0 送信バイト 468 送信エラー 0 送信中継 0 送信衝突 0
IP アドレス	10.10.12.1 12.182.217.194 169.254.1.1 192.168.1.100	なし
MTU	1500	1500

アプライアンスの各 NIC (network interface card) では、通信と受信の統計を表示および確認できます。

グローバル ネットワーク構成セクションでは、Bomgar Box のホスト名を構成し、NIC ごとに既定のゲートウェイを指定できます。最大 3 つまでの DNS サーバーに対し IP アドレスを入力します。ローカル DNS サーバーが使用できない場合、**OpenDNS サーバーにフォールバック** オプションで、Bomgar Box により OpenDNS から公開され利用可能になった DNS サーバーが使用できるようになります。OpenDNS についての詳細情報は、www.opendns.com をご覧ください。

ホストが機能しているかどうかをテストしたい場合は、アプライアンスが、ping に応答できるようにします。Bomgar Box を同期する場合は、ホスト名または IP アドレスをネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバーに設定します。既定の NTP サーバーは **clock.bomgar.com** です。

既定では、Bomgar はポート 80 および 443 を使用し、443 はポート 8200 にレプリケートされます。任意のポートを経由してウェブインターフェースにアクセスするために、アプライアンスを複数ポートに動的にリスンするよう構成できます。注: ただし、カスタマーおよびスタッフのクライアントは既定ポートで実行されるように既成されており、このインターフェースからは変更できません。

ステータス | マイアカウント | **ネットワーク** | セキュリティ | サポート

IP 構成 | 静的ルート | SNMP

NIC 構成

	NIC 1	NIC 2
詳細	詳細の表示	詳細の表示
IP アドレス	10.10.12.1 12.182.217.194 169.254.1.1 192.168.1.100	なし
MTU	1500	1500

[新規 IP の追加](#) [保存](#)

警告: ネットワーク設定の変更は、他のユーザーがデバイスを使用している場合のみ実行してください。

グローバル ネットワーク構成

ホスト名

既定のゲートウェイ 使用デバイス **NIC 1**

プライマリ DNS サーバー

セカンダリ DNS サーバー

ターシャリ DNS サーバー

OpenDNS サーバー

パーティフォールバック

注: このオプションで構成されている DNS サーバーが存在しないか、またはそれに到達できない場合、この設定を有効化すると、Bomgar Box は OpenDNS から公開 DNS サーバーを使用することになります。OpenDNS についての詳細は、www.opendns.com をご覧ください。

Ping に応答

NTP サーバー

注: この設定は、システムクロックと NTP タイムサーバーとの同期を取るためのものです。ホスト名または IP アドレスをひとつ入力できます。既定値は「clock.bomgar.com」です。

[変更を保存](#)

警告: ネットワーク設定の変更は、他のユーザーがデバイスを使用している場合のみ実行してください。

ポート番号設定

サーバーリスンポート

注: これは Web ブラウザが接続できるポートに限り多指しますが、これらのポートに接続できるようにするためには、Bomgar のクライアントアプリケーションの再インストールが必要となります。詳細については [Bomgar サポート](#) にお問い合わせください。

既定の URL ポート

[保存](#)

IP アドレスの編集ページから、IP を有効にするか無効にするかを選択します。新規 IP アドレスを追加する際、この IP が機能するネットワークポートを選択することもできます。**IP アドレス**フィールドでは、アプライアンスが応答するアドレスを設定できます。一方、**サブネットマスク**は Bomgar が他のデバイスと通信するのを助けます。

²フィールドでは、アプライアンスが応答するアドレスを設定できます。一方、**サブネットマスク**は Bomgar が他のデバイスと通信するのを助けます。これらの設定では、このプライベート IP のみが使用できる telnet サーバーのメニューオプションを変更できます。緊急復元などの状況で使用できます。Telnet 機能は、特にビルトインのプライベート IP に関連付けられているため、他の構成 IP アドレスでは表示されません。

Telnet 機能は、特にビルトインのプライベート IP に関連付けられているため、他の構成 IP アドレスでは表示されません。	機能
フル	フル機能を備えた Telnet サーバーの有効化
簡易	4つのオプションがあります。 FIPS エラー の表示、工場出荷時の状態にリセット、シャットダウンおよび再起動
無効	サーバーを完全に無効にします

構成済み IP アドレスの場合、パブリックサイトとカスタマークライアントからのみ、**/login**および**/appliance**インターフェース、あるいはその両方から各 IP にアクセスできます。

また、複数のホスト名を処理する際にブラウザエラーを回避するために、一意の SSL 証明書をインストールできます。Bomgar では、あらゆるの長さの完全な証明書チェーンをサポートしています。**公開証明書ファイル**フィールドでは、アプライアンスの直接のホストの証明書をアップロードします。このパブリックキーファイルに中間証明書が含まれている場合にも、中断されることはありませんが、追加の証明書は無視されます。

中間証明書ファイルフィールドでは、お使いのアプライアンスの証明書と信頼されたルート証明書を含む複数の中間証明書をアップロードできます。複数の中間証明書をすべてひとつのファイルに、またはひとつのファイルを証明書ごとにアップロードできます。

証明書を正常にアップロードしたら、アップロードフィールドの上の**SSL 構成**セクションで詳細を表示できます。

Bomgar サポートに指示された場合をのぞき、工場出荷時の既定証明書に戻すボタンをクリックしないでください。これにより、この IP アドレスの証明書は Bomgar の既定証明書にリセットされます。既定証明書を使用すると、既定証明書はアプライアンスのホスト名と一致しないためセキュリティ警告が出ます。

¹Bomgar B100 アプライアンスには NIC がひとつあり、IP 構成は複数のイーサネットポートではなくアプライアンスに適用されます。Bomgar アプライアンスには 1 つまたは 2 つ以上の IP アドレスを構成できます。**MTU** も構成できます。

²既定の IP アドレスを削除、変更しないでください。

ネットワーク > 静的ルート

2つのネットワークがお互いに交信できない状態がある場合、両方のネットワークが個別に通信できる場所にアプライアンスがあるという条件下で一方のコンピュータにおける管理者が Bomgar Box を通じて接続できる静的ルートを確立できます。

高度な設定を行える管理者のみが、静的ルートを設定できます。

ステータス	マイアカウント	ネットワーク	セキュリティ	サポート
IP 構成	静的ルート	SNMP		

静的ルート

接続先ネットワーク: . . . / ゲートウェイを使用: . . . 使用ポート:

注: 詳細なネットワーク構成に使用されます。定義は慎重に正しく行うようにしてください。
既存のルートを削除する際は、すべてのフィールドをクリアしてから、変更を保存します。

警告: ネットワーク設定の変更は、他のユーザーがデバイスを使用していない場合のみ実行してください。

ネットワーク > SNMP

Bomgar アプライアンスは、¹ Bomgar アプライアンスは、ネットワーク、ハードドライブ、メモリ、CPU 統計を監視するシンプルネットワーク マネジメント プロトコル (SNMP) をサポートしています。² ネットワーク、ハードドライブ、メモリ、CPU 統計をサポートしています。これにより、監視を目的として Bomgar アプライアンスをクエリするために SNMP プロトコルを経由して可用性とその他の統計の取得するツールを使用できるようにします。

このアプライアンスに SNMP を有効化するには、SNMPv2 の有効化を選択するか、チェックマークを入れます。これにより SNMPv2 サーバーが SNMP クエリに応答できるようになります。このアプライアンスを SNMP を使用してクエリできるシステムの所在位置、読み取り専用のコミュニティ名、IP 制限事項、または IP アドレスの値を入力します。IP アドレスが入力されない場合、すべてのホストはアクセスを許可されます。

ステータス	マイアカウント	ネットワーク	セキュリティ	サポート
IP 構成	静的ルート	SNMP		

Networking :: SNMP 構成

SNMPv2 の有効化
 このアプライアンスで SNMPv2 サーバーを有効にします。以下でサーバーオプションの構成ができます。

• システムの所在位置
 この Bomgar アプライアンスの所在位置を入力します。この値は SNMPv2-MIB::sysLocation OID に戻ります。

• 読み取り専用のコミュニティ名
 SNMPv2 サーバーの応答先となるコミュニティ名を入力します。

IP 制限事項

このアプライアンスで SNMPv2 にアクセスできる IP アドレスを入力します。1 行につき 1 件、「A.B.C.D/ネットマスク」形式で入力します。ネットマスクは、トッド10進表記、または整数ビットマスク表記です。入力されていない場合、すべてのホストがアクセスできるようになります。

• 必須項目

¹SNMP は Bomgar B100 アプライアンスには使用できません。

²シンプルネットワーク マネジメント プロトコル (SNMP) は、ネットワークデバイスを監視および管理するために使用できるインターネット標準プロトコルです。 http://en.wikipedia.org/wiki/Simple_Network_Management_Protocol

セキュリティ > 証明書

サポート管理者は、複数の証明書を複数の IP アドレスと関連付けることができます。/applianceのセキュリティタブのセキュリティセクションで、管理者は証明書のセットと IP アドレスのセットの関係を定義することができます。

サーバー構成

Bomgar アプライアンスをインストールする際、サーバー構成画面に移動し、証明書を構成する必要があります。サーバー構成は、「基礎」または「詳細」のどちらかを選ぶことができます。

注:工場出荷時の既定値は、編集できますが削除はできません。

新規基礎構成

Bomgar B100 をお使いの場合、または、IP アドレスのみを Bomgar アプライアンスに関連づけたい場合、セキュリティ証明書を作成するために基本構成を使用する必要があります。

基本構成を含む新規の暫定自己署名セキュリティ証明書を作成する場合、セキュリティ証明書の会社名と DNS アドレスを入力します。

この証明書は自動的にアプライアンスに構成されたすべての IP アドレスに適用され、以前の証明書は上書きされます。

新規詳細構成

Bomgar アプライアンスに複数の IP アドレスが関連付けられている場合は、新規セキュリティ証明書を作成するために高度な構成を使用できます。

作成時にそれぞれの証明書は IP アドレスと関連付けることができます。または、証明書を作成して、後から編集することもできます。

高度な証明書構成では、管理者は構成名を提供し、構成を新規または既存の証明書に割り当て、どの IP アドレスを証明書と関連付けるかを決定する必要があります。

名前	証明書の確認	IP アドレス	詳細
出荷時の既定値	*bomgar.com	• 169.254.1.1	編集 1警告
*qa.bomgar.com	*qa.bomgar.com	• 12.182.217.194	編集
Business Company Configuration	Business Company Certificate	• 10.10.12.1	編集 1警告
Business Company Signed Certificate	businesscompany.example.com	• 192.168.1.100	編集 1警告

注: 出荷時既定値は削除できない可能性があります。

このページで、単一のホスト名用に新規の自己署名入り証明書を生成し、構成済み IP アドレスのすべてに適用できます。

注:

- HTTPS でサイトにアクセスした人は、その人のブラウザから、このサイトは信頼されたものではないという内容の警告を察知する可能性が大きいので、セキュリティ鍵が失われてしまうかもしれません。
- この警告を避けるために、証明書権限から証明書の取得を抑制してください。お手元の管理者が既にこのセキュリティの項目をご確認ください。

*会社名

*DNS アドレス

暫定の自己署名入り証明書を生成してすべての IP に適用する

構成名

証明書: 新規証明書 既存の証明書

証明書: *qa.bomgar.com

チェーン

自動 手動で指定

No file chosen

PEM-encoded 形式での証明書チェーンのみが承認されます。

IP アドレス

12.182.217.194 (現在使用中: *qa.bomgar.com)

10.10.12.1 (現在使用中: Business Company Configuration)

192.168.1.100 (現在使用中: Business Company Signed Certificate)

続行

証明書

Bomgar アプライアンスで利用できるセキュリティ証明書の一覧を表示するには、証明画面に移動します。

ステータス | マイアカウント | ネットワーク | **セキュリティ** | サポート

証明書 | アプライアンス管理 | SSL 構成 | 電子メールの構成

セキュリティ :: 証明書

サーバー構成 | 証明書 | 証明書リクエスト | キー | インポート

証明書

新規証明書

証明書	読みやすい名前	発行の宛先	発行元	有効期限	別の名前	秘密キー	詳細
<input type="checkbox"/>	*.qa.bomgar.com	*.qa.bomgar.com	DigiCert High Assurance CA-3	2013/01/23 11:59:59 PM UTC	dNSName - *.qa.bomgar.com dNSName - qa.bomgar.com	はい	詳細
<input type="checkbox"/>	*.bomgar.com	*.bomgar.com	*.bomgar.com	2012/02/06 04:20:08 PM UTC	サポートされていない名前	はい	詳細
<input type="checkbox"/>	Business Company Certificate	Business Company Support	Business Company Support	2012/04/19 02:24:57 PM UTC	dNSName - *.example.com dNSName - remote.example.org iPAddress - 10.10.12.3	はい	詳細
<input type="checkbox"/>	businesscompany.example.com	Your Site Secure Server CA - G2	Your Site Secure Server CA - G2	2012/04/19 02:32:55 PM UTC	dNSName - *.example.com dNSName - support.example.org iPAddress - 10.10.12.100	はい	詳細
<input type="checkbox"/>	DigiCert High Assurance CA-3	DigiCert High Assurance CA-3	DigiCert High Assurance EV Root CA	2022/04/03 12:00:00 AM UTC	サポートされていない名前	はい	詳細
<input type="checkbox"/>	DigiCert High Assurance EV Root CA	DigiCert High Assurance EV Root CA	Entrust.net Secure Server Certification Authority	2014/07/22 03:57:27 PM UTC	サポートされていない名前	はい	詳細
<input type="checkbox"/>	Entrust.net Secure Server Certification Authority	Entrust.net Secure Server Certification Authority	Entrust.net Secure Server Certification Authority	2019/05/25 04:39:40 PM UTC	サポートされていない名前	はい	詳細

出荷時既定値の情報は表示できません。可能性があります。

それぞれの証明書の詳細は、詳細をクリックして表示・編集できます。

セキュリティ :: 証明書 :: 証明書の編集

サーバー構成 | 証明書 | 証明書リクエスト | キー | インポート

証明書の読みやすい名前

*.qa.bomgar.com

サブジェクト名

- CN=*.qa.bomgar.com
- OU=Remote Support
- O=Bomgar Corporation
- L=Ridgeland
- ST=Mississippi
- C=US

発行者名

- CN=DigiCert High Assurance CA-3
- OU=www.digicert.com
- O=DigiCert Inc
- C=US

シリアル番号

2379000496504167402261563614056221076

有効になる日

2010/01/06 12:00:00 AM UTC

失効日

2013/01/23 11:59:59 PM UTC

公開キー

RSA (2048 ビット)

秘密キー

利用可能

別の名前

- dNSName - *.qa.bomgar.com
- dNSName - qa.bomgar.com

権限情報アクセス

- http://www.digicert.com/CACerts/DigiCertHighAssuranceCA-3.crt

注: すべての証明書フィールドおよび拡張子が表示されるわけではありません。

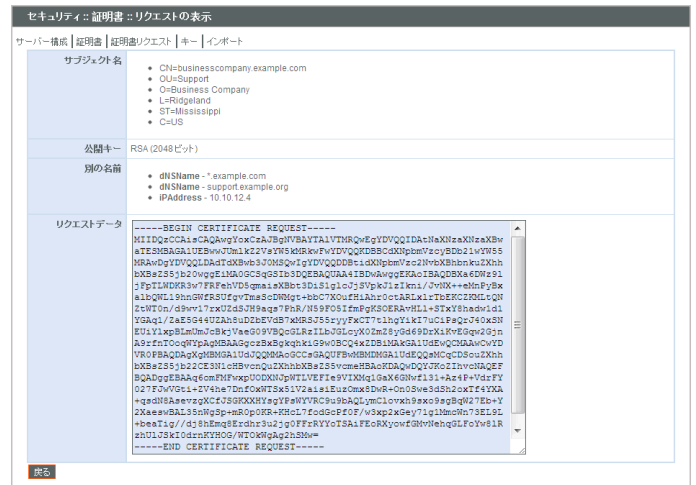
変更を保存

証明書リクエスト

証明書リクエスト画面には、サードパーティが署名した証明書に対する保留リクエストが表示されます。

既存の証明書リクエストの詳細は、詳細リンクを選択して表示することができます。

サードパーティによる新規証明書の署名を要求するリクエストは、新規リクエストをクリックします。



次に表示されるメッセージで、新規証明書の詳細を入力し、証明書リクエストの作成をクリックします。

新規証明書リクエストの確認を受け取ったら、インポート画面に移動し、新規証明書をアップロードします。



キー

キー画面では、アプライアンスに関連付けられた証明書のキーを表示、エクスポート、削除できます。



証明書をエクスポートする際に、どの詳細を含めるかを定めることができます。



インポート

新規証明書リクエストの確認を受け取った場合、または既存の証明書またはプライベートキーをアプライアンスにアップロードする必要がある場合は、インポート画面に移動します。任意のファイルを参照して、アップロードを選択します。

証明書をアップロードしたら、証明書の詳細およびIPの関連性を編集できるようになります。



セキュリティ > アプライアンス管理

許可、不許可のネットワークアドレスを設定することで、またインターフェースがアクセスできるポートを選択することで、アプライアンスの管理用インターフェースのアクセスを制限することができます。

アプライアンスが既存のsyslogサーバーにログメッセージを送信するよう構成することもできます。¹ Bomgar Boxのログはlocal0ファンリティアを使用して送信されます。

The screenshot displays the 'Network Restriction' (ネットワーク制限事項) configuration page. At the top, there is a navigation bar with tabs for 'ステータス', 'マイアカウント', 'ネットワーク', 'セキュリティ', and 'サポート'. Below this, there are sub-tabs for '説明書', 'アプライアンス管理', 'SSL 構成', and '電子メールの構成'. The main content area is titled 'ネットワーク制限事項' and contains a warning message: 'これらの設定は、このアプライアンスの管理インターフェイス (場所: appliance) のみに適用されます。このインターフェイスは、常にネットワーク上で 192.254.0.16 から 物理的にアクセスが可能です。' Below the warning, there are radio buttons for 'すべて許可' (selected), '次のネットワークのみ許可', and '次のネットワークのみ拒否'. A text input field is present for specifying network addresses. Below the field, there is a list of example IP addresses: '192.168.0.0/255.255.0.0', '192.168.100.0/24', and '192.168.100.16/32'. A '変更を保存' (Save Changes) button is located below the list. At the bottom of this section, a warning message states: '警告: 現在の IP アドレス [174.247.64] を無効にするような設定は保存できません。' The next section is 'ポートの制限事項' (Port Restrictions), which includes a warning: 'アプライアンスのインターフェイス (appliance) へのアクセスに使用するポートを選択します。' Below this, there are checkboxes for ports '80', '443', and '8200', all of which are checked. A '変更を保存' (Save Changes) button is also present. The final section is 'Syslog', which includes a warning: 'local0Syslog 機能を使用して、このアプライアンスからシステムメッセージを受け取る Syslog ホストサーバーのホスト名または IP アドレスを入力してください。最大 10 基のサーバーまで、スペースで区切って入力可能です。' Below this, there is a text input field for the 'リモート Syslog サーバー' (Remote Syslog Server) and a '送信' (Send) button. At the bottom of the Syslog section, a note reads: '注: Syslog サーバーを変更すると、アラート電子メールが、電子メールの構成ページで設定されている管理者連絡先電子メール アドレスに送信されます。'

¹Syslog レポートは、Bomgar B100 アプライアンスでは使用できません。

セキュリティ > SSL 構成

SSLバージョン2およびSSLバージョン3のいずれかを有効化するか無効化するかを選択します。最適なセキュリティを得るために、Bomgar ウェブインターフェースは、SSLv2に変換する前に常に既定でSSLv3にしてください。ただし、一部の旧ブラウザはSSLv2までしか対応していません。SSLv3のみを有効化する場合で、SSLv3をサポートしていない最新でないブラウザで管理用インターフェースへのアクセスを試行する場合、Bomgarにログインできません。SSLv2を有効にすることで、ブラウザのバージョンに関わらず任意のコンピュータからウェブインターフェースに接続できるようになります。これらの設定は、Bomgar Boxのウェブインターフェースに対する接続のみに影響し、お使いのコンピュータとカスタマーのコンピュータ間のサポートトンネルは、常にSSLv3で暗号化されます。

Bomgar BoxでどのCiphersuitesを有効にするのか、無効にするのかを選択します。優先順位を変更するには、Ciphersuitesをドラッグし、ドロップします。Ciphersuitesへの変更は保存ボタンがクリックされるまで有効になりません。Ciphersuitesの管理は、FIPS環境での操作が必要な企業に利点をもたらします。

ステータス | マイアカウント | ネットワーク | **セキュリティ** | サポート

説明書 | アプライアンス管理 | **SSL 構成** | 電子メールの構成

SSL 構成

SSLv2を許可

警告: SSLv2は暗号方式として脆弱であり、多くの攻撃に脆弱性がありません。SSLv2を有効にするのは、レガシークライアントが互換性上それが必要とする場合のみこととなりますようにしてください。

SSLv3を許可

SSL暗号

SSLまたは TLS 接続を確立するときに Bomgar Box がネゴシエーションするのを制御したい暗号スイートを、ここから構成することができます。

注: 次に示す暗号は、Bomgar Box の正常な動作を確保するために、常時有効化されています。

- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA

さらに、TLSv1は、Bomgar Box の正常な動作を確保するために、常時有効化されています。

すべての暗号を有効にする

変更した際は、「保存」をクリックするまでは有効になりません。

暗号スイートを「有効」か「無効」の各セクションでドラッグアンドドロップして、その有効化や無効化を行うことができます。また、特定の暗号スイートの欄にあるリンクをクリックを入れることにより、有効化/無効化を行うことも可能です。さらに、有効な暗号スイートをドラッグアンドドロップして優先順位を変更できます。暗号は優先度の高いものから低いものへと並びます。

有効化されている暗号スイート

.....

無効化されている暗号スイート

- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA
- TLS_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
- TLS_RSA_WITH_RC4_128_SHA
- TLS_RSA_WITH_RC4_128_MD5
- TLS_RSA_WITH_DES_CBC_SHA
- TLS_RSA_EXPORT_WITH_DES40_CBC_SHA
- TLS_RSA_EXPORT_WITH_RC4_40_MD5

保存

セキュリティ > 電子メールの構成

Bomgar Box が自動メール通知を送信できるよう、SMTP リレーサーバーを構成し、1つまたは2つ以上の管理者連絡先を設定しておきます。

ステータス	マイアカウント	ネットワーク	セキュリティ	サポート
証明書	アプライアンス管理	SSL 構成	電子メールの構成	

セキュリティ :: SMTP リレー サーバー

SMTP リレー サーバー オープン状態のリレー SMTP サーバーを入力してください。または次の管理者連絡先アドレスへの電子メールを受信できる SMTP サーバーを入力してください。

SMTP ポート

SMTP 暗号化 SMTP サーバーが SSL 暗号化をサポートしている場合、該当する種類を選択してください

なし
 SSL
 TLS

SMTP ユーザー名 認証が必要な SMTP サーバーの場合、ユーザー名とパスワードを入力してください

admin

SMTP パスワード 注: 現在のパスワードを保持する場合は、空欄のままにしておきます。

変更を保存

セキュリティ :: 管理者連絡先

管理者連絡先電子メール 重要なシステム イベントを通知する電子メール アドレスを入力してください。アドレスが複数の場合はスペースで区切ります。

設定の保存時にテスト電子メールを送信する

変更を保存

サポート > ユーティリティ

ユーティリティセクションは、ネットワークの問題のデバッグに使用できます。接続を確立できない場合に、これらのユーティリティが理由を特定するのに役立ちます。アプライアンスの DNS サーバーをテストし、ホスト名または IP アドレスが正しく解決されているか確認します。Bomgar Box で Ping を使用してネットワーク接続をテストします。トレースルートを使用してパケットがアプライアンスから外部システムへ移動するパスを表示できます。

ステータス	マイアカウント	ネットワーク	セキュリティ	サポート
ユーティリティ	アップデート	アドバンスド サポート		

ユーティリティ :: DNS

DNS ユーティリティを利用して、このアプライアンスに対する DNS 解決をテストします。「解決できません」というエラーが表示される場合は、ネットワークタブの DNS サーバー設定を確認してください。

ホスト名または IP アドレス

解決

ユーティリティ :: Ping

このアプライアンスの接続状態をテストするには、Ping ユーティリティを使用してください。「不明なホスト」というエラーが表示される場合は、ネットワークタブの DNS サーバー設定を確認してください。100% のパケットロスが生じる場合は、接続先サーバーが Ping に応答するよう構成されているかを確認し、また、ネットワークタブで IP 設定を確認してください。

ホスト名または IP アドレス

Ping

ユーティリティ :: トレースルート

このアプライアンスからのアウトバウンド ネットワーク ルートをテストするには、このトレースルート ユーティリティを使用します。静的ルートは、ネットワークタブから、手動で構成できます。

このユーティリティの最大ホップ数は 20 です。

ホスト名または IP アドレス

トレース

サポート > アップデート

最新ビルドが使用可能になったら、Bomgar から通知が送信されます。新規アップデートパッケージがアプライアンスにビルドされた通知を受け取ったら、**アップデートを確認する**ボタンをクリックして、パッケージの場所を確認し、インストールする準備をします。

複数のソフトウェアパッケージがアプライアンスにビルドされている場合、利用可能なアップデートの一覧に個別にそれぞれが表示されます。**このアップデートをインストールする**ボタンをクリックすると、新規ソフトウェアが自動的にダウンロードされ、インストールが開始します。

アップデートを確認する機能の使用は必須ではありません。アプライアンスがインターネットに接続されていない場合、または企業のセキュリティポリシーで自動アップデート機能が使えない場合は、新しいソフトウェアパッケージに直接リンクされる Bomgar サポート スタッフのメール送信をリクエストすることもできます。

ソフトウェアパッケージをダウンロードした後、**手動インストール**セクションでファイルを参照し**ソフトウェアのアップデート**ボタンをクリックしてインストールを完了します。

インストール中、このアップデートページには全体的なアップデート進行状況を通知する進行状況バーが表示されます。ここで行ったアップデートにより、お使いの Bomgar Box のすべてのサイトとライセンスも自動的にアップデートされます。

ログイン済みのスタッフは、一時的にサポートセッションと Bomgar スタッフコンソールへの接続が失われますので、アップデートはピーク時間以外に予定してください。



サポート > アドバンスド サポート

アドバンスド サポート セクションでは、Bomgar サポート チームの連絡先情報を提供しています。また、アプライアンスで開始されたサポート トンネルを Bomgar サポート に戻すことも可能です。これにより、複雑な問題も素早く解決できます。

ステータス	マイアカウント	ネットワーク	セキュリティ	サポート
ユーティリティ	アップデート	アドバンスド サポート		

Bomgar サポート 窓口情報

サポート Web サイト	http://www.bomgar.com/support.htm		
電子メール アドレス	support@bomgar.com		
電話番号	直通	601.519.0123	
	フリーダイヤル	866.652.3177	
	国際	+1.601.519.0123	

Bomgar からこの Box へのサポート

サポートコード

アクセスコード

オーバーライドコード

注: このセクションは、高度な技術アシスタントが必要な場合にのみ使用するものです。これらのコードは、Bomgar 社の担当者によってその時点で配布されます。